



しあわせ

No. 114

平成25年1月24日

発行者 社会福祉法人
飯豊町社会福祉協議会

会長 舟山 兵八郎

電話 72-3353 (事務局)

E-mail: lideshakyo@poem.ocn.ne.jp

URL: http://www.lide-shakyo.jp/



目次

次

- 02 平成24年度集落ワークショップの様様
- 06 共同募金・歳末たすけあい運動結果
- 08 おじいちゃんおばあちゃんへの絵手紙コンテスト
- 09 「いいね!」を振り返る
- 10 思い出のひろばー福祉の里めざみ
- 11 協賛企業広告

新年明けましておめでとうございます。
会員並びに町民の皆様には清々しく新年をお迎えのこととお慶び申し上げますとともに、日頃から当協議会の運営並びに事業の推進につきまして、多大なるご支援、ご協力を賜っておりますことに、役員一同を代表し厚くお礼を申し上げます。

近年、少子高齢化の進展をはじめ経済や雇用の厳しさも相まって、ひきこもりなどの社会的孤立の問題、経済的困窮や低所得の問題、虐待などの権利擁護の問題など、地域社会や家族内のつながりができず弱まってきたりします。

このような中、社会福祉協議会は「支え合って住み続けられる地域」を求めて、「暮らしの将来像」を話し合う集落ワークショップの開催をはじめ、「ふれあい・いきいきサロン活動」や高齢者の一人暮らし世帯や夫婦のみの世帯などの生活を支援するなど、地域福祉活動の拡充に取り組んでまいりました。

本年も引き続き社会情勢は厳しいものと予想されますが、地域福祉の推進を図ることを目的とする団体として、その使命を果たして参りたいと考えております。

一方、介護保険事業につきましては、厳しい経営状況になってきておりますが、ご利用者の目線に立ったサービスの改善に努めておりますので、今後ともご利用いただきますようお願いいたします。

最後に、新しい年が皆様にとりまして希望に満ちた年になりますようご祈念申し上げます。



年頭のあいさつ

飯豊町社会福祉協議会

会長 舟山 兵八郎



「しあわせ」の作成経費の一部として皆様から寄せいただいた共同募金配分金及び広報誌発行のために企業から協賛いただいた掲載料を使用させていただいております

『集落ワークショップの展開』

STEP 1

第1回ワークショップ (11月21日～22日)

『高齢者を取り巻く問題や解決すべき課題を話し合う』

- 自身の不安なこと、心配なことなどを出し合う。
- 自分が常に行っている趣味活動を紹介する。
- どんな「支えあい」が必要かを考える。
- どんな「高齢者」になりたいかを描く。
- どんな「集落」にしたいか検討する。

- 食事は
- 買い物は
- 生きがいは
- 除雪は
- 手仕事を持つ
- 生産活動に従事
- 元気づくり 等

STEP 2

第2回ワークショップ (12月13日～14日)

『問題を解決する方法を話し合い具体的な活動を考える』

- それぞれから出された問題を克服する方法を導き出す。
- 問題解決のための活動計画 (アクションプラン) を作る。
- 集落で「サロン活動」「支え合う体制」を考える。
- いきいきした暮らし方や高齢者の「楽しみ」を見つける。
- 集落をもっと良くするために出来ることを探してみる

- 暮らしの将来像を作る
- モデル3集落の報告会の検討
- 他集落への波及
- 個人の趣味から社会的な活動へ

アクション

支えあって住み続けられる地域の実現に向けた行動

黒沢地区 叶内集落 (◆地区長/ 手塚房夫 ●世帯数/ 14戸)



「(若い人達は) 昔からみると日曜に様々な行事が増え、休日らしい休日がなく集落行事が作りにくい。」だからこそ「せめて家族といえる時間は大切にしたい。」家庭を大事にしたいという思いが溢れる集落です。

■集まることの大切さを見直す

- ・集落の高齢者が集まれる機会を年1回でも作ってみる。
⇒一人一品持ち寄って会食会。ゲートボールだけでなく新しいレクリエーションにも挑戦。
- ・冬期間はお茶のみにも行けなくなることが多く特に閉じこもりがちになりやすい。
⇒高齢者が気軽に取り組める趣味を作ろう。

■集落を集楽に!

- ・高齢者がいきいきしていないと若い人たちも元気がなくなってしまうが、子供たちが定住したくなるような魅力ある集落を作ろう。空き家の有効活用を考えよう。
⇒孫世代と一緒に白菜鍋を試みる。老後の楽しい過ごし方の見本を示す。

■女性の力を引き出そう!

- ・集落の後継者で作る「月例会」の存在は大きい。
⇒月例会を中心に新たな企画づくりに期待! (高齢者や婦人達の交流の場づくり)

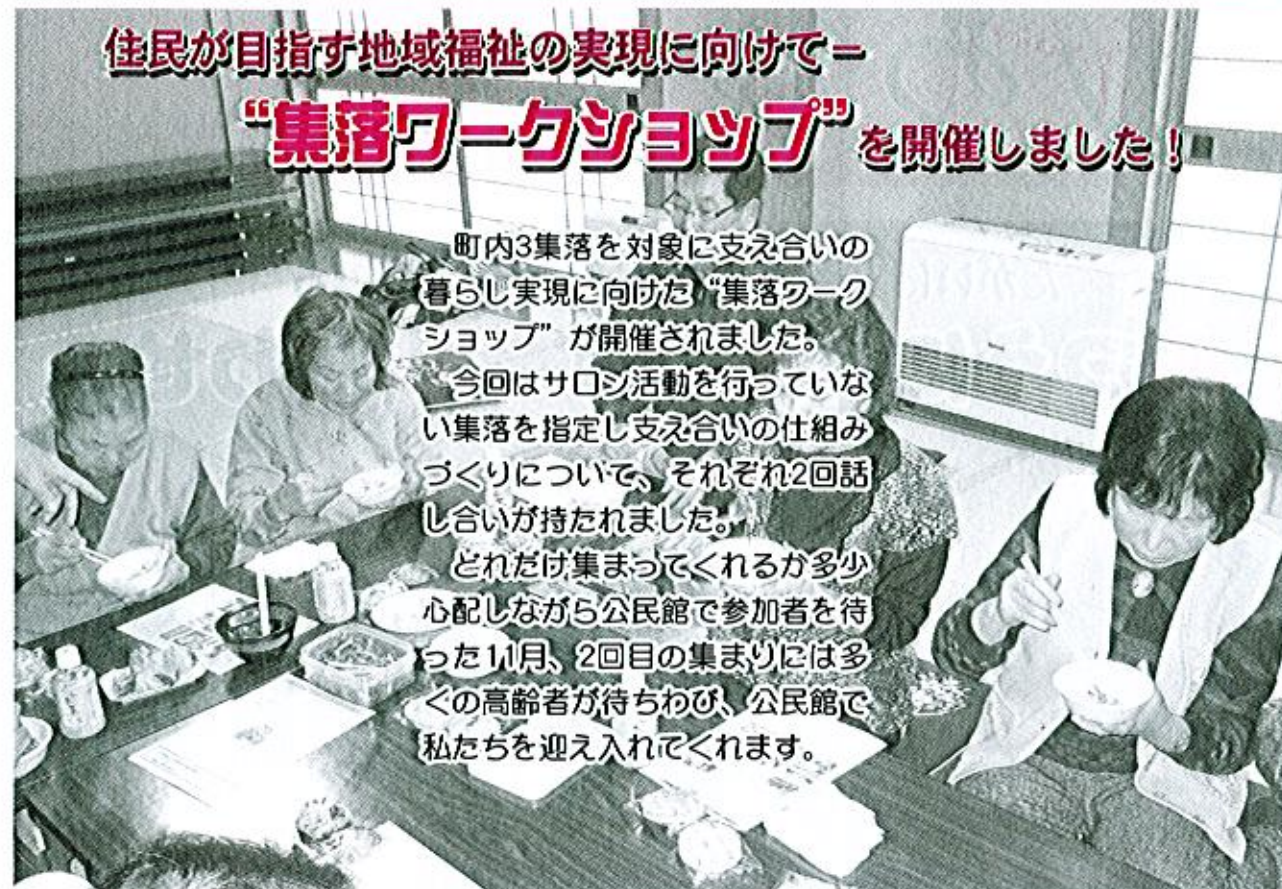
■楽しみながらの野菜づくり

- ・どの家も同品種の作物を作っている。 ⇒在来品種といわれる農作物を栽培してみる。

集落のもつ力を再発見! 人と人をつなぐ実践!

住民が目指す地域福祉の実現に向けてー

“集落ワークショップ”を開催しました!



町内3集落を対象に支え合いの暮らし実現に向けた“集落ワークショップ”が開催されました。

今回はサロン活動を行っていない集落を指定し支え合いの仕組みづくりについて、それぞれ2回話し合いが持たれました。

どれだけ集まってくれるか多少心配しながら公民館で参加者を待った11月、2回目の集まりには多くの高齢者が待ちわび、公民館で私たちを迎え入れてくれます。

『住民自ら地域課題を発掘し、その解決方法をみんなで考える』を目標に地域力を高めるための活動として4年目となった今回は、町内3集落が舞台となりました。住民が暮らし続けたいと実感できる魅力ある地域づくりに向けたアクションも包含しているこの取り組みでは、地域の人たちが抱く郷土愛を強く引き出しながら、高齢者などが安心して生きられる集落を目指し自ら役割意識を高める行動について考えてきました。

高齢者は支えられるだけの存在ではないということを周囲が理解し、地域住民が本来もっている力に自信が持つことができれば「集落全体に動きを与え、高齢者が勢いづく」これは、これまでのワークショップ開催集落でも実証されてきており、この取り組みからコミュニティづくりの知恵なども生み出されてきております。

この度も各部落長並びに自治会長、地区長様をはじめ、民生委員の方々のご協力により、これから社協が地域福祉を実践していく上で大切にしたいメッセージや声を集めることができました。

住民ひとり一人が思いをめぐらせ作られるアクションプランの実践に向け、今回もまた、高齢者たちが踏み出す「最初の一步」を見守ることが出来ました。本号ではその様子をダイジェストにして紹介します。

【共通テーマ】

『集落で高齢者を中心に様々な人たちとつながりを築き、お互いに支えあう仕組みを一緒に考える』

【モデル集落と会場地】

黒沢地区: 叶内地区 椿地区: 厚生自治会 小白川地区: 中郷部落

町内のご当地 いきいきサロン【下樺集落編】

下樺集落のサロンには町内では比較的珍しく多くの男性の姿があります。男性が、食べ物を調理して女性達に振る舞うという光景もユニークであります。年末にはみんなで「門松」を作ります。出来栄も見事で、下樺集落の思いが詰まった言うことなしの「逸品」と言えます。

食事づくりから門松づくりまで—男性の活躍が光る滝流サロン—

活動開始時期	平成 15 年 8 月
開催頻度・日時	月 1 回～2 回
開催場所	下樺公民館
対 象	集落内の高齢者中心
1 回当たり平均参加者	18 名 (男性 9 名・女性 9 名)
1 回当たりの参加費	月 700 円



下樺サロン製の門松が今年も社会福祉施設の玄関を飾ってくれました。

《活動内容》 下樺自治会は現在 26 世帯から構成されており、町内でも比較的同居率が高い集落です。しかし、日中は家族が不在となり、ひとりで家に閉じこもる高齢者も見られることから、みんなで集まって一緒にお茶飲みをしようと平成 15 年に男性が中心となりサロンを立ち上げました。活動内容は実に多彩で年 1 回は孫たちとの交流会を企画するなど世代を越えて名前を呼び合える地域づくりを目指しています。参加者の中には書道の先生、絵手紙のプロ、門松づくりの名人などがおり、そういった高齢者の知恵や技術を活用したプログラムをうまく採用しているのが特徴です。

利用料について
一回あたり 1,500 円
(一時間程度、生活保護を受けている方は利用料の負担がありません。)

サービスについて

- 福祉サービスの利用援助
- 情報提供・相談
- 利用の申込、契約代行
- 日常生活管理サービス
- 医療費の支払い
- 年金や福祉手当の受領に必要な手続き
- 預貯金の出し入れ、預金の解約の手続き
- 書類等の預かりサービス
- 年金証書の預かり

対象者について

高齢者の方、障がいのある方
※施設に入所している方でも利用できます。

福祉サービスを利用したいけれど、手続きの仕方がわからない、「お金のやり取りに自信がない」などの不安や疑問を持っている方へ生活支援員がお手伝いをします。

お手伝いまでの流れ



シルバー110番！ ひとりで悩んでいませんか？

◇一般相談

月曜日～金曜日(9:00～17:00)

- ★高齢者やご家族など。来所・電話
- ★相談は無料です。秘密厳守。

◇専門相談(要予約)(13:30～16:00)

- ★法律相談(弁護士)月曜日
- ★税金相談(税理士)偶数月第 1 水曜日
- ★認知症相談(社会福祉士等)火・金曜日

023-622-6511(ろーごい)

山形県高齢者総合相談センター(山形県社会福祉協議会)
山形市小白川町 2 丁目 3-30

「認知症」のことで 悩んでいませんか？

- ◇こんな時どうすればいいの？
- ◇父が、母が、この頃、何だか以前と違う！
- ◇介護に疲れた・・・
- ◇話を聴いてほしい。
- ◇誰にも相談できない。

相談は無料です。秘密厳守。

火曜日・金曜日(13:30～16:00)

023-622-6511

山形県高齢者総合相談センター
(山形県社会福祉協議会)
山形市小白川町 2 丁目 3-30

樺地区 厚生集落(●自治会長/ 安部美知夫 ●世帯数/31戸)



参加者みんなで作った白菜鍋は最高の味でした。とりあえず、集まりの名称は厚生「姫サロン」に決定！女性の元気がみなぎる集落には、「絵手紙名人」「パズル名人」「盆栽職人」等素晴らしい仲間が揃っています。

■若い世代と積極的に交流を。

- ・高齢者同士でのお茶飲み仲間は多い。一方で隣近所の若い人や子供達の名前が分からない。
⇒育成会と関わりを持ち、高齢者の持ち味を発揮できる場づくりを進めてみる。

■高齢者を支えるサロンづくり。

- ・サロン活動に対する意欲は見られるがリーダーの擁立などに不安あり。
⇒サロン立ち上げについて社協に相談してみる。健康づくりに関する勉強会を企画したい。

■暮らしの不安を解消。

- ・自宅から公民館まで距離があるため参加するための手段がない。徒歩での移動は厳しい。
⇒運転が得意な人を探してほしいし、お礼に自慢の手料理をご馳走してみよう。
⇒仲間と一緒に「ほほえみカー」を利用して出かけしてみる。

■趣味活動を助長させる。

- ・お互いに趣味の紹介、特技の交換をしてみるのも楽しい。
⇒地元の名人から指導を受けて絵手紙教室を開催。写真をパズル化してみんなでやってみる。

小白川地区 中郷集落(●部落長/ 舟山嘉蔵 ●世帯数/41戸)



地場産作物の直売所「ぶばちゃん店」は借しくも数年前に店じまい。集落のシンボルでもあり、住民の拠り所でもあった名店。店を支えてきたメンバーも加わり、いま「中郷さくら会」というサロンが生まれようとしております。

■小さな集まりから定期的な集まりに。

- ・何かをやり遂げるための組織ではなく、何でも気楽にやれるサロンを作る。
⇒集落民の誇りでもある公民館前の「さくらの木」の下で今年の春みんなで花見をする。
お酒を飲める人も飲めない人も、まずは桜の花びらを塩漬けて作った「桜茶」で乾杯。

■地域や家庭から尊敬される高齢者を指す。

- ・例え足が不自由になっても、集落のみんなに中郷の楽しみ方、暮らしの知恵を伝える。
⇒野菜作りや料理の名人など個々の特技が発揮される企画を集落行事に取り入れてみよう。

■家庭の味・自慢の一品をみんなで共有。

- ・漬け物の上手な作り方や珍しい作物をみんなに紹介し新たな楽しみを作る。
⇒根わさびや朝鮮人参など今まで出会ったことのない味が身近にあったのが驚き。
わさびは、おかゆパーティーの具材に活用。朝鮮人参は煎じてみんなで健康茶にして頂く。

■やっぱり！畑づくりが生きがい。

- ・おばあちゃん手づくりの野菜を孫達にいっぱい食べてもらいたい。
⇒たくさん食べてもらえる方法を考える→ 珍しい料理、面白い食べ方を調べてみよう。

昨年皆さまよりお寄せいただいた**募金**は
平成25年度の様々な福祉活動に役立てられます

《集まった募金の配分方法》

広域施設団体経費配分 ⇒ 県内の小規模作業所、社会福祉施設・団体へ542,000円を配分
地域福祉活動事業配分 ⇒ 町内の福祉活動のために1,815,966円を社会福祉協議会へ配分

あなたの募金は、あなたの町へ。



10月1日～12月31日

赤い羽根共同募金

平成24年度 歳末たすけあい運動の取り組み

“みんなでささえあうあったかい地域づくり”に向けて

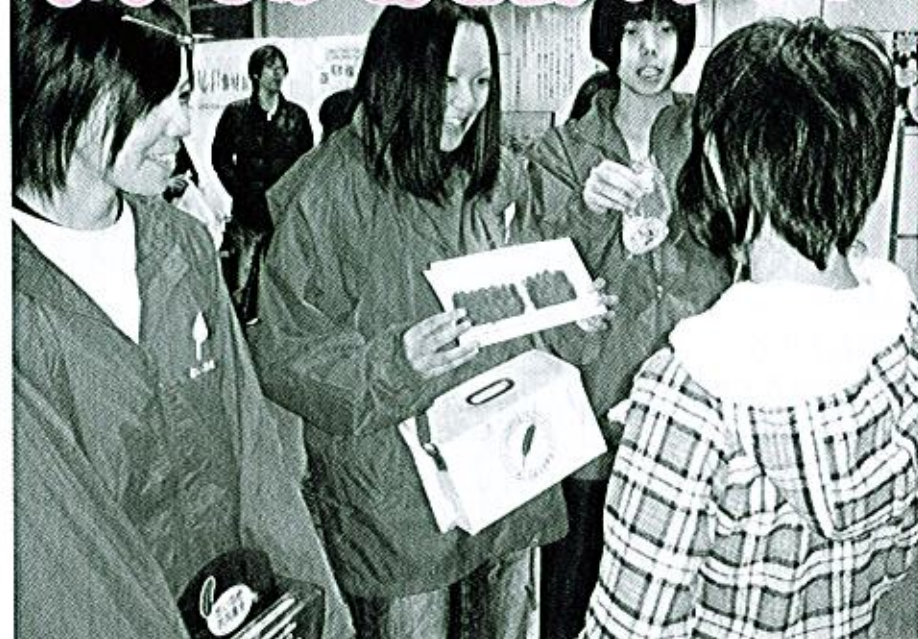
町民の皆様から寄せられた義援金は **964,500円** となりました。

	配分された福祉事業	事業執行団体
	経済的支援を必要とする世帯への商品券進呈事業 (63件/697,000円)	社会福祉協議会
	安否確認を必要とする単身高齢者等への特別配食サービス (120件/167,300円)	民生委員児童委員協議会
	要保護準要保護認定児童激励支援事業 (24件/72,000円)	民生委員児童委員協議会
	ボランティアによる単身高齢者への福祉年賀状作成事業 (160件/16,000円)	高校生ボランティアサークル 「さんたくろ〜す」

共同募金運動の一環として行われる歳末たすけあい運動はこの町で支援を必要とする人たちが安心して新年を迎えることができるよう、今回は4つの福祉活動に対し義援金を配分しております。《運動諸経費・・・12,200円》

共同募金・歳末たすけあい募金にご協力ありがとうございました

いいでの 町を良くするしくみ。



収穫祭会場にて募金ボランティアとして活動する地元高校生 (11月3日/町民総合センター)

目標額 4,967,000円
(達成率 99.8%)

共同募金総額
2,367,000円

●戸別募金 1,477,149円
●街頭募金 6,148円
●大口募金 777,285円
●学校募金 55,576円
●職域募金 30,108円
●イベント募金 11,700円

大口募金協力事業者ご芳名 (50音順・敬称略)

《個人》梅津 光雄 小笠原 英信 高橋 玄舟

《法人等》

愛昭運輸 青木電気工事 アグメントなか アベ床屋 安部塗装店 嵐商店 イイデパート いいで福祉会 飯豊米ネットワーク 飯豊町観光協会 飯豊町産業開発公社 飯豊町商工会 飯豊めざみの里 いいでめざみの里福祉会 いいで旅館 いいでワゴン薬局 五十嵐商店 いとう印刷 伊藤園 いとう自動車 伊藤造園土木 伊藤美容室 井上園芸 いわはなや食堂 上田スポーツ店 魚井 魚島味 ウマイヤ商店 エムエス置賜 LDF山形工場 エルベ 遠藤商店 オウラ 大岸製作所山形工場 大城鉄工所 オーシャン	オオヒラ 置賜クリーン設備 男鹿商店 おそうじ館梅津 恩徳寺 菓子の丸屋 柏川電機商会 カネマン魚店 ガレッジフラット 歓喜院 岩松寺 喜雲寺 菊地工業 菊地商店 吉祥寺 木村自動車 行人沢そば吾合庵 協和ハウス 銀波 草刈商店 源居寺 小池建築 小泉たみ店 香月 国分石材 小関塗装店 後藤商店 後藤農場 ごとう美容室 後藤無線商会 こまき理容店 こまつ鍼灸接骨院 今魚店 斎藤組 さかい食堂 寒河江設計	佐久間履物店 佐藤管工業 さとうクリーニング 佐藤酒造 佐藤鉄筋 佐藤輪業商会 さゆりクリニック 山有縫製 三陽電気 JFEミナラル飯豊製業所 志田建築 島貫販売店 車匠コジダ 新丸七商店 スナック胡太郎 セーブオン飯豊養生店 セルカ 泉学寺 千古屋 高岡建築工業 高橋工務店 竹村商店 たせい美容室 田中屋 田辺理容所 千草美容室 格闘易郵便局 つばき接骨鍼灸院 格闘産物加工所 つばき美容室 手塚建築 でっちゃん家 寺嶋医院 富永工務店 豊川建設 どんでん平ゆり園	中自動車整備工場 中津川エフエフ 中津川バイオマス 長沼新聞店 長沼理理士事務所 並木製作所山形工場 新野印刷 肉のすがい 西置賜ふるさと森林組合 日栄製作所 日進 日通プロパン梅津商店 橋本建築 東山アスコン共同企業体 樋口建設 ビューティーサロン舞衣 美容室いのうえ 美容室メルシー 美容ホワイテ 船山印刷 舟山建築 船山商事 ヘアーサロンながおか ヘアーサロンナス ヘアーサロン細谷 豊城建設 ほーす ほそやでんき ホリエ 堀呉服店 本長寺 松乃枝商店 まつや 松山行政書士事務所 松山商店 マルコンデンソー	マルシチ米穀 丸八梅津商店 マルホ商店 まるや尾形商店 ミエ理容室 三ッ柳道路 緑のふるさと公社 ミヤコ美容室 美和美容室 めざみ交通 山形おきたま農協飯豊支店 山形中央信用組合飯豊支店 山形屋旅館 ヤマキチ 山口経営管理センター 山口治療院 山口ボディサービス ヤマデン 夕月 湯の華 湯村板金 ゆり調剤薬局 横山土地家屋調査士事務所 米野土地家屋調査士事務所 米来軒 リベアナガオカ 理容ハセベ 理容ヤマガチ リヲ美容室 レベック ワールドファイブ 若乃井酒造 渡部魚店 渡部製材所
--	--	---	--	--



②9月1日 ねりんフェア2012～高齢者手づくり作品展示即売会～
町内6名・3団体から260点を超える出品があり、めざみの里まつりを盛り上げました。



①10月24日 第62回山形県・県民福祉大会 (川西町) 式典ではボランティア功労者として「町婦人会 (会長 近野紀代子)」に吉村知事から表彰状が手渡されたほか、長年ボランティア活動を通じ地元へ貢献してきた飯豊分校に感謝状が贈られました。

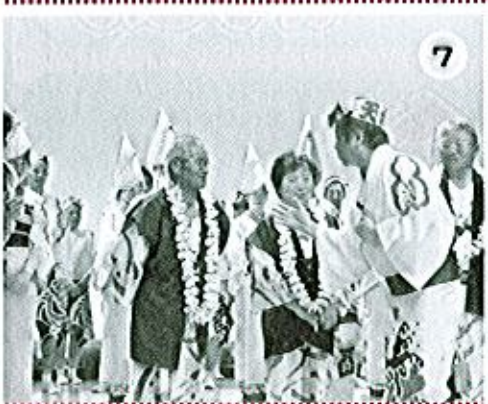
2012年度 「いいね!」を振り返る 地域福祉をめぐる出来事



⑥10月16日 第36回高齢者体育レクリエーション大会
今回から会場を町民総合センター「あす」に変えての開催となりました。各地区の老人クラブ対抗による大会には200名を超える高齢者が出場し、チームワークと健康づくり活動の中で鍛えられた体力を競いました。上位入賞チームは以下の通り。◆優勝/東部地区高砂会 (150点) ◆準優勝/黒沢寿会 (150点) ◆第三位/中長生会 (125点) ★公式ワナゲ最優秀選手賞/高橋文雄 (高峰高砂会)



③10月2日 第3回ふれあいグラウンドゴルフ大会
赤い羽根チャリティイベントとして行われた大会に38名の高齢者が出場しました。(スワンパーク)
④12月20日 町長との懇談会「ほのほのトーク」
高齢者の暮らしについて町長と老人クラブ代表者が意見交換を行いました。(東部地区公民館)
⑤10月16日 山新おしどり金婚さん顕彰記念品贈呈式
今年17組のご夫婦に山形新聞社より記念のレリーフが贈られました。(町民総合センターあす)



⑦6月5～7日 第25回飯豊町敬老号
46名の参加者が小豆島へ渡り映画「二十四の瞳」の舞台を見学。1日目徳島阿波踊り会館では実際に本場の阿波踊りを体験しました。



山新おしどり金婚さん顕彰記念品贈呈式



東日本大震災以降、ボランティアやNPO、行政等、さまざまな人や団体が被災者となつたり現在も支援を続けております。
被災者にとって応急避難的な生活空間となる避難所については、過去の震災を振り返りつつも、まだまだ解決すべき課題が山積しており、特に子供や高齢者に配慮した避難所設営が求められています。
このたび、特定非営利活動法人ほつと(理事長高橋工三)が主催した「みんなで避難所体験」事業は、「町で大きな震災が起きたとき、避難はしたけれど実際にどう動けばいいのか」といった素朴な疑問からスタートし、いま考えられる問題を、住民や行政、社協が子どもや女性の視点に立つ

みんなで避難所体験/ 12月16日 (こどもみらい館) こどもや女性にやさしい避難所を考える

①避難所生活の長期化に備え、女性や子供専用の避難所が必要とされる。
②原則早い者勝ちとなる「間取り」作業において子供のいる家族とそうでない家族のスペースをできるだけ分けることが求められる。
③避難所の運営管理にあつては女性の意見が十分反映されるべきである。

引き出された課題
とともに考えることをねらいとして実施されました。
被災地支援や地域防災のアドバイザーとして豊富な経験をお持ちの特定非営利活動法人ディーコレクティブ川原代表を講師に迎え、約20名の参加者が炊き出しや探し物体験を行い、いま考えられる課題を出し合いました。



町内の児童による絵手紙コンテストの募集が敬老の日を前に行われ、全部で231点の応募がありました。作品は、「大好き、ありがとう」「長生きしてね」といった愛情込めたメッセージに祖父母の似顔絵や思い出のシーンなど微笑ましい画が添えられ、どれも甲乙つけがたい力作ばかり。主催して2回目となるこの取り組みを通じ、ひとり一人が高齢者の尊厳を大切に考えることへの確かな手ごたえを感じることができました。
8月末に行われた審査会では老人クラブ関係者らが審査にあたり次の通り最優秀賞、優秀賞が決定されました。



第2回おじいちゃん・おばあちゃんへの絵手紙コンテスト 子供たちが祖父母に伝える感謝のかたち

最優秀賞

低学年 長沼李央さん(手ノ子小2年)
高学年 山口雄士朗くん(添川小4年)

優秀賞

低学年 手塚千穂さん(第一小1年)
高学年 小関蒼汰くん(手ノ子小4年)
山口万輝くん(第一小6年)

●左は最優秀賞山口くんの作品です



平成24年度広報支援協賛企業紹介 ～私たち企業は、飯豊町の福祉事業を応援します～

環境・水・快適な生活を守り続けて50年

上下水道・給排水・衛生設備・浄化槽工事
ボイラー設備・空調設備・消雪工事
設計・施工・保守点検
住宅設備機器販売

株式会社佐藤管工業

〒999-0602 山形県西置賜郡飯豊町大字萩生615

TEL (0238) 72-2191

FAX (0238) 72-2192

お米はここまで美味しくなる。
山形から、日本の新品種
ご飯の大好きなあなたへお届けします。



山形おきたま農業協同組合飯豊支店
山形県西置賜郡飯豊町大字萩生528
TEL 0238-72-2121 FAX 0238-72-2010

寝具設備関係業務・ベッド・カーテンの販売など

WATAKYU SEIMOA
ワタキューセイモア株式会社

健康と快適の明日を考える

東北支店 TEL 022-392-2141代

安全・親切・快適 暮らしに奉仕する...

めざみ交通 株式会社

飯豊町椿1984-8

TEL (0238) 72-2137

“よりよい生活空間の創造をめざして...”

株式会社 鈴木建築設計事務所

代表取締役 藤原 薫

〒990-0055 山形市相生町7-55
TEL 023-623-1775代 FAX 023-623-1779
URL: http://www.archi-suzuki.co.jp/

伊藤園

おーいお茶

国産茶葉100%



飯豊町第三セクター連絡協議会

西置賜郡飯豊町大字松原1898
(めざみの里観光物産館内)
0238-86-3939

めざみの里観光物産館

TEL 0238-86-3939

しらさぎ荘

TEL 0238-74-2161

どんでん平ゆり園

TEL 0238-78-5587

いいで白川荘

TEL 0238-77-2124

エルベ

TEL 0238-86-2828

ちょっと いっぱく

お土産に

菓子の丸屋 のお菓子をどうぞ

萩生 TEL 72-2047 FAX 72-2048

docomo

〒993-0003 山形県長井市東町4番3-1号
ドコモショップ長井店
TEL 0120-972-803

福祉用具の販売・レンタル・訪問介護のドータルサポート

サナクス

ご利用はこちらまで
TEL 0238 (37) 6011
FAX 0238 (37) 6222

皆様からのご予約を心よりお待ちしております

魚豊味

飯豊町萩生 TEL 72-2109

受験シーズン本番!

「ふるさと奨学ローン」

教育資金はおまかせ下さい!!

東北労働金庫長井支店 詳しくは窓口へ
TEL 0238-84-1100 お問い合わせ下さい

文具とOA機器の

SOC ソック 株式会社

本店 長井市栄町10番1号
TEL (0238) 84-2507 FAX (0238) 84-2640
山形支店 TEL (023) 643-6331 FAX (023) 643-6332
URL http://www.soc2009.co.jp

思い出のひろば

あんなことや

こんなことや

いろいろ
あったけなあ





★新役員・評議員紹介

理事

(第3号/いいで福祉会)
五十嵐 節子

平成二十四年十二月二十六日就任

評議員

(第5号/人権擁護委員)
高橋 敏夫

平成二十四年十二月二十六日就任

菅野誠一さん 社会福祉功労者 厚生労働大臣表彰受賞



【社会福祉功労者としての主な経歴】

飯豊町民生委員児童委員協議会長 (H13.12月～)
飯豊町社会福祉協議会理事 (H11.12月～)
長井西置賜地方民生委員児童委員協議会連絡会副会長 (H22.12月～)
山形県民生委員児童委員協議会理事 (H23.1月～)

平成元年から地域の身近な相談役として弱い立場にある方々を支援しながら町民生委員児童委員協議会長の職を10年以上にわたり努められた功績が認められ、この度社会福祉功労者として厚生労働大臣表彰を受けられました。

民生委員児童委員として
地域福祉の向上に寄与

社会福祉の分野で功績のあった皆様

平成24年度において、栄えある表彰状並びに感謝状をお受けになられた皆様をご紹介します

●山形県知事社会福祉功労者表彰

【民生委員児童委員】

元木ヒデ子 様 (手ノ子)

【社会福祉事業従事者】

横澤 晃 (社協職員) 佐原真由美 (社協職員)

【ボランティア団体】

飯豊町婦人会 様

●山形県知事社会福祉功労者感謝状

【ボランティア活動】

県立置賜農業高等学校飯豊分校 様

●山形県身体障害者福祉協会会長表彰

【自立更生者功労】

高橋 昭一 様 (添川)

●山形県・県民福祉大会会長表彰

【社会福祉事業協賛・奉仕者(団体)】

飯豊町食生活改善推進員連絡協議会 様

飯豊町立中津川小中学校 様

●山形県老人クラブ連合会会長表彰

【育成指導功労】

菊地 幸男 様 (萩生) 五十嵐とよ子 様 (小白川)

【創立50周年特別表彰】

佐藤 悦郎 様 (黒沢)

●飯豊町社会福祉協議会会長感謝状

【社会福祉事業奉仕者】

高石 高榮 様 (椿)

感謝録

みなさまのご厚志に心よりお礼申し上げます

今号では昨年8月から今年11月15日までに届けられた善意を掲載させて頂いております
皆様からお寄せいただいた貴重なご寄付は地域福祉の向上のために有効に使わせていただきます

●社会福祉事業のために寄附を頂いた方々 (順不同)

- ・樋口 仁一 様 (萩生)
- ・高齢者手づくり作品展即売会に出店された皆様
- ・第39回飯豊町芸能発表会実行委員会 様
- ・西部地区公民館文化祭実行委員会 様

●施設ボランティア慰問、物品寄贈等 (順不同)

□物品寄贈

- ・船山 晃 様 (小白川)
- ・川崎道子 様 (椿)
- ・川崎よし 様 (椿)
- ・鈴木講一 様 (椿)
- ・伊藤一俊 様 (萩生)
- ・後藤信子 様 (松原)
- ・本間元二 様 (萩生)
- ・来々軒 様
- ・日本通運 様
- ・おじか食堂 様
- ・下椿いきいきクラブの皆様

□ボランティア

- ・皆川亜紀 様 (中)
- ・男声合唱団プロジェクトの皆様
- ・さゆり保育園の皆様
- ・町西ゆりの会の皆様
- ・高校生ボランティアさんたくろ～のの皆様
- ・小国高校飯豊支部の皆様
- ・長井工業高校飯豊支部の皆様
- ・手ノ子小学校6年生の皆様
- ・第二小学校4年生の皆様

表紙写真/昨年夏、本町の男声合唱団「プロジェクト」のメンバーが福祉の里めざみを訪れ素朴な歌声を披露しました。「プロジェクト」はドイツ語で「乾杯」を意味し、合唱を楽しみながら、まちづくりや仲間づくりを進めみんなと交流を深めようという意味が込められているそうです。